

I-③ 幼・小・中合同学校保健安全委員会 「子供の強みを見つけ合おう」

令和元年11月14日(木)に幼・小・中合同学校保健安全委員会を小学校で行った。参加者は、希望する保護者、職員で、今回の参加人数は38名であった。講師は、附属学園の藤澤スクールソーシャルワーカー(SSW)、入江スクールカウンセラー(SC)、田中SCの3名と、学校医の佐藤先生をお招きしてご講話をいただいた。自分自身や子供の強みを見つける演習を行った参会者からは「個人の強みと環境の強みの両方があることが大切だと思いました。」「子供の良さを再確認できるととてもよい機会になりました」「様々な学年・校種のお家の方とお話ができて、とても参考になりました」等の意見をいただいている。佐藤先生からは、インフルエンザについてお話していただき、流行の時期や予防接種のタイミング等を詳しく教えていただいた。

1 SSW, SCによる講話・グループワークの様子



① SSWが自分自身の強みを紹介



② 子供と母親の会話の一場面を紹介



③ 自分自身や子供の強みをグループで話す参会者



④ SCが子供のネガティブ発言への対応例を紹介



⑤ 子供へ一言メッセージを書く参会者



① インフルエンザ予防と対応を紹介

2 学校医による講話の様子

3 効果(終了後の保護者の感想より)

参加者の主な感想は以下の通りであった。テーマに関することはもちろんのこと、グループによるピアサポート効果の記述もたくさん見られた。

保護者の感想(一部)

<テーマに関する効果について>

- ・ 子供の良さを再確認することができた。
- ・ 強みというといふ能力や技能を思い浮かべて自分には特にはないと思っていたが、性格や夢、興味、資源、環境等視野を広げるとまた違って来るなと思った。
- ・ 親としての気付き、子育ての1つの方法として学んだ。
- ・ 先生方のロールプレイに我が子を重ね合わせて見させていただいた。教えていただいたリソースの活かし方を参考に、思春期の子供との距離感、関わり方を実践していきたい。
- ・ 普段、子供のできない部分、マイナスの部分に目を向けてしまいがち。他の保護者と自分の子供のことを話す時も子供を下げた言い方、見方をしていた。でも、今日のようなプラスの思考、強みなどを改めて考えて文字にすることで、子供自身をきちんと見つめてあげることができ、とてもよかった。

<グループワークによる効果について>

- ・ グループワークをすることで、参加しているなど感じられてよかった。
- ・ 数人(4人)のグループだったので、ざっくばらんに楽しく談笑できた。(複数)
- ・ 他学年の保護者の方とお話ができ、貴重な経験ができた。(複数)
- ・ 子供の違うママ同士でしたが、それだけにリラックスできたように思う。
- ・ 他の子育て中のお母さんの話が聞けて、楽しかった。
- ・ 自分の子供のことをこんなにゆっくりと振り返る機会がなかったので、有意義であった。(複数)
- ・ 気持ちが明るくなった。

<その他>

- ・ SSWやSCの講話など普段聞けないのでよかった。このような機会があると、相談しやすくなる。
- ・ 興味深い内容で、時間があっという間にすぎた。
- ・ インフルエンザの話がためになった。

心の支援部による成果と課題

- 参加者の様子や感想から、保護者自身や子供の強みについて一度立ち止まって考えるよい機会となったと思う。
- 幼稚園・小学校・中学校の保護者が同じグループになり、話をすることで、最初は緊張していた保護者も、自分自身や子供の強みについて、和気藹々と話をされている様子が見られた。子育てについての不安や悩みを共有し合えるよい機会になったと感じる。
- できるだけ多くの保護者にも参加していただくために、下校時間に合わせるなど工夫していきたい。また、研修したことを記事にして発信することで、広げたい。
- 参加者からは、子供の性に関することや思春期の子供への接し方について話を聞きたい等の感想を多くいただいた。次回の学校保健委員会(春・秋)のテーマとして取り上げていきたい。

子どもの強みを見つけ合おう

スクールカウンセラー 入江 輝
田中 彩
スクールソーシャルワーカー
藤澤 茜

こころの支援部を紹介します



学校(園)生活の様々な心配ごとに、先生方とSC,SSWが連携し、応援していきます

こころの支援部の活動一例 (6年生へのコミュニケーションプログラム)

9月「上手な断り方とは？」
10月「SOSの出し方を考えよう」
11月「考え方のクセを知ろう」



「生きる力」を育むコミュニケーションスキルについて、みんなで楽しく学んでいます…

1年生 不安軽減プログラム (「うんどうかいが ふあんな おともだちへ」)

【保護者の方より】初めての運動会、不安がいっぱいなようです。なんとか、前向きに応援したいのですが…

ひとがいっぱいと ときどきするよね



いつもとちがうけれど だいじょうぶだよ

でも、みんないじが



大丈夫だよ こうしてみよう…



ほくはこんなことが不安なんだ

このスライドをみんなで見たよ

「運動会が不安」の声を受け、1年生へミニレクチャーをしました

相談内容



スクールカウンセラーって？



スクールカウンセラー導入のねらい

○対象: 不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子どもの貧困、児童虐待等の未然防止、早期発見及び支援・対応等や学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒、障害のある児童生徒・保護者

○対応: 児童生徒、その保護者、教職員に対して、カウンセリング、情報収集・見立て(アセスメント)や助言・援助(コンサルテーション)を行う。

○目標: 全ての児童生徒が安心した学校生活を送ることができる環境(学校コミュニティ)作り等を行うことを目指す。

出典: 教育相談等に関する調査研究協力者会議「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり(報告)」(平成29年1月) p.6より引用したもの

スクールカウンセラー(SC)の職務内容とは？

・SCは、児童生徒が抱える問題に対して心理的なアプローチで支援していく。

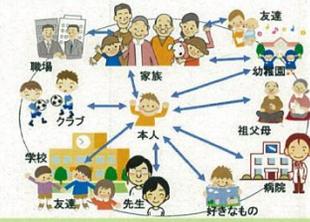
- ①児童生徒に対する相談
- ②保護者や教職員に対する相談・助言
- ③校内会議等(生徒指導に関わるもの)への参加
- ④教職員や保護者、児童生徒への研修や講話
- ⑤相談者への心理的な見立てや対応
- ⑥ストレスチェックやストレスマネジメント等の予防的対応
- ⑦T.Tによる授業
- ⑧幼稚園・小学校・中学校・高等学校との連携

スクールソーシャルワーカーって？



ソーシャルワークの視点

◆生活全体を捉える視点



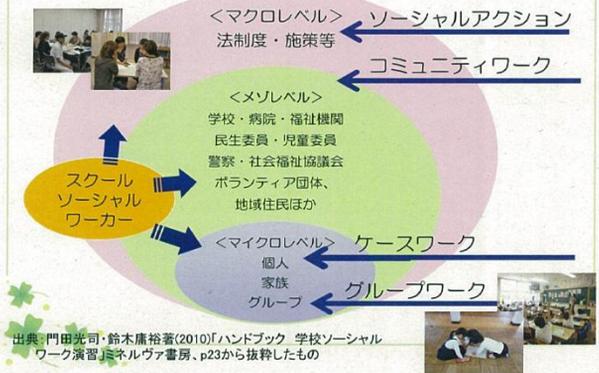
◆本人と本人を取り巻く環境との関係

スクールソーシャルワークとは

不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子供の貧困、児童虐待等の課題を抱える児童生徒の修学支援、健全育成、自己実現を図るため、ソーシャルワーク理論に基づき、児童生徒のニーズを把握し、支援を展開すると共に、保護者への支援、学校への働き掛け及び自治体の体制整備への働き掛けを行うこと。そのため、SSWの活動は、児童生徒という個人だけでなく、児童生徒の置かれた環境にも働き掛け児童生徒一人一人のQOL(生活の質)の向上とそれを可能とする学校・地域をつくるという特徴がある。

出典：教育相談等に関する調査研究協力者会議「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり(報告)」(平成29年1月)p11より引用したもの

スクールソーシャルワーク実践体系図



出典：門田光司・鈴木庸裕著(2010)『ハンドブック 学校ソーシャルワーク演習』ネルヴァ書房、p23から抜粋したもの

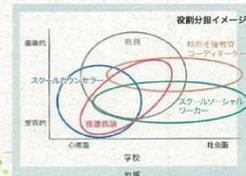
カウンセラーと

ソーシャルワーカー？



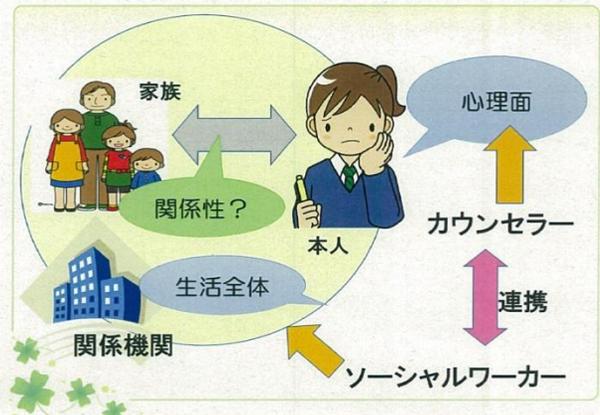
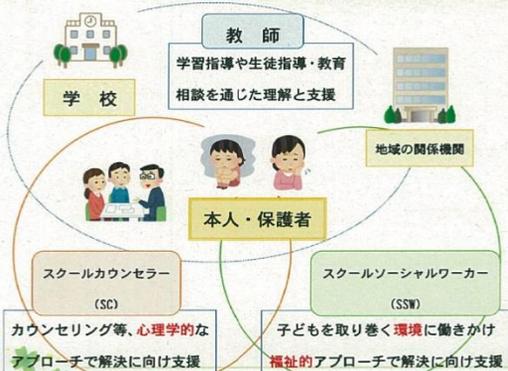
SC・SSWの連携

- SCは、児童生徒が抱える問題について、児童生徒本人や保護者に対して**心理的**なアプローチで支援をしていく。
- SSWは、児童生徒の家庭環境等を把握し、関係機関の連携を調整し、**福祉的**なアプローチで支援をしていく。



出典：東京学芸大学「子どもの問題」支援システムプロジェクト「スクールソーシャルワーカーのしごと」、p4から抜粋したもの

SC,SSW,学校の連携イメージ



具体的には・・・例

さて、

こんなことはありませんか？



本人の
「強み」(ストレングス)を
活かすって？



強み(ストレングス)とは



- * 個人の強み(ストレングス)
性格、能力、技能、願望、夢、興味 など
- * 環境の強み(ストレングス)
資源(制度、サービス、場所)、社会関係、
機会 など

<強みを探そう！>



◆個人の強み：性格、能力、技能、夢、興味など

◆環境の強み：資源、社会関係、機会など

お互いの
「強み」(ストレングス)を
1つ又は2つを
紹介してみよう



お互いの
「強み」(ストレングス)を
語り合あって
どんな感じ？



子どもの
「強み」を見つけてみましょう



<強みを探そう！>

- ◆個人の強み：性格、能力、技能、夢、興味、生活習慣など



子どもの
「強み」を紹介し合ひましょう



子どもの
「強み」を語るって
いかがでした？



子どもに
一言、メッセージを！



子どものために
どんなことを大切にしたい？

こんなことを大切にしたいなあと思
われることを1つ、
書いてみましょう。

例) ストレス発散をする！
できたことは褒めよう！



<寄り添うことができるように>

- ◆一人で抱え込まない
～支え合いのできる人を見つける～
- ◆自分をいい状態に保つ
⇒体力(ゆとり)と体温(受けとめる感性)
ストレス発散方法は？

- ◆自分の強みも大切にしよう



強みをどう活かす？

ポイント等紹介

